



# 今後の活動の目指すポイント



農村や農業の課題（高齢化、人口減少、空き家、離農者増、担い手不足、獣害の増加…）は、いつまでも住み続けられる地域を、思い描くことが出来なくなりつつあります。  
 食料・農業・農村を地域全体でどう守るか考え、農業に携わっていない方も意識することが大切です。  
 中山間地の農村環境・農業は、助け合うことでしか守れないと思います。  
 広域協定では、非農業者も含めた農業や地域を維持する仕組みづくりを、活動のポイントとしています。

## 1. 非農業者と一緒に「草刈り隊」設置 ※今年から活動時給が1500円にUP!

- ① 集落内の人手不足や大変な担い手農業者のために、共同作業に賛同し、ついでに小遣い稼ぎも行いたい農業者・非農業者が集まって「草刈り隊」を結成
  - ② 集落内の遊休農地や農道、農業の担い手に集中した田んぼの畦畔の草刈り 年数回
  - ③ 耕作者の減少で作業が大変になっている農業水路や集落の防火用導水路の泥上げ
  - ④ 冬に、高齢者宅の雪かきまで発展している集落もある。
- コロナ禍では、「この共同作業が唯一みんなが集まって楽しく話し合えた時間だった。」  
 「地域のつながりや、話し合うことの大切さを実感した。」という声をよく聞きました。



## 2. 集落全体で「獣害対策」をすすめる

対策	個人で	地域や多面事業で
集落の環境整備	生ごみや未収穫の柿などの処理「人間による餌場を作らない」	放置された果樹等の伐採 餌となるゴミ対策
	農地や家屋の周りの草刈り	共同で草刈り(草刈り隊)
被害を防ぐ	農地周りに柵や電気柵を設置	柵や電気柵の設置、管理
	爆竹による追い払い	共同で山への追い払い

○ 広域協定では、2集落が集落全体に声掛けし、ほ場回りの電気柵設置 約3km、14ha  
 ○ 今後も順次数地区で電気柵設置予定がある

## 3. 日々の安全作業のため、危険な法面へ「防草シート」を設置

農作業や本事業の活動で、一番多い怪我が「草刈り作業」時のケガです。特に、長い法面のは場や排水路脇の法面作業は危険を伴います。  
 広域協定では、現在5地区で約900m設置し、特に高齢者の安全対策を図っています。



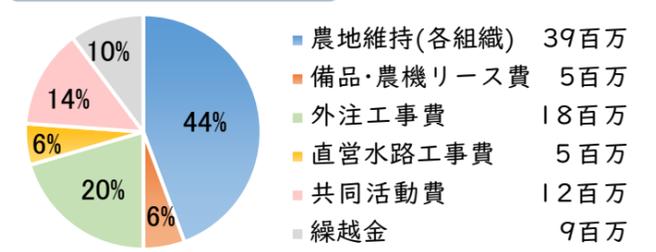
## 4. 集落全体で「LINEグループ」集落の情報共有とつながりの場を

- ① 集落行事、集落の出来事、子供育成会からの連絡等々、各団体からの素早い連絡 なかなか全戸配布や回覧物を見る機会のない人でも、情報が得られる。
  - ② 災害時やクマなどの出没等の非常時の連絡や、日頃の助け合いの連絡。
  - ③ 多面事業の泥上げや草刈り、高齢者宅の雪かきなどの連絡等、活用幅は大きい
- ※ すでに、取り組んでいる集落が数集落あります



# 最上町広域協定：令和6年度の決算と7年度の計画

令和6年度の支出額 決算額：87百万円



- ※ 共同活動費内訳
- ① 会議・研修時日当 0.2百万
  - ② 運営委員会役員報酬、事務局人件費 10.5百万
  - ③ 傷害保険、通信料、消耗品、印刷費、啓発資料等 1.4百万

令和7年度の活動計画 予算額：115百万円

- ① 農地維持：各組織で行う草刈りや泥上げ 47百万円 (農地維持予算で支出する工事費含む)
- ② 農業機械・資材、事務所備品等費用 3百万円
- ③ 水路工事やゲート補修などの外注費等 45百万円
  - 農道の舗装工事(野頭、法田下、志茂、向町)
  - コンクリート側溝への更新工事
  - 水路・農道施設補修、災害復旧費
- ④ 直営施工水路更新工事(中満沢他) 7百万円
- ⑤ 共同活動費(人件費・事務経費等) 13百万円

発行日/令和七年六月一日 発行責任者/最上町広域協定 運営委員会理事長 吉田 貞実



# 多面的機能支払交付金事業 最上町広域協定 活動通信 No.12

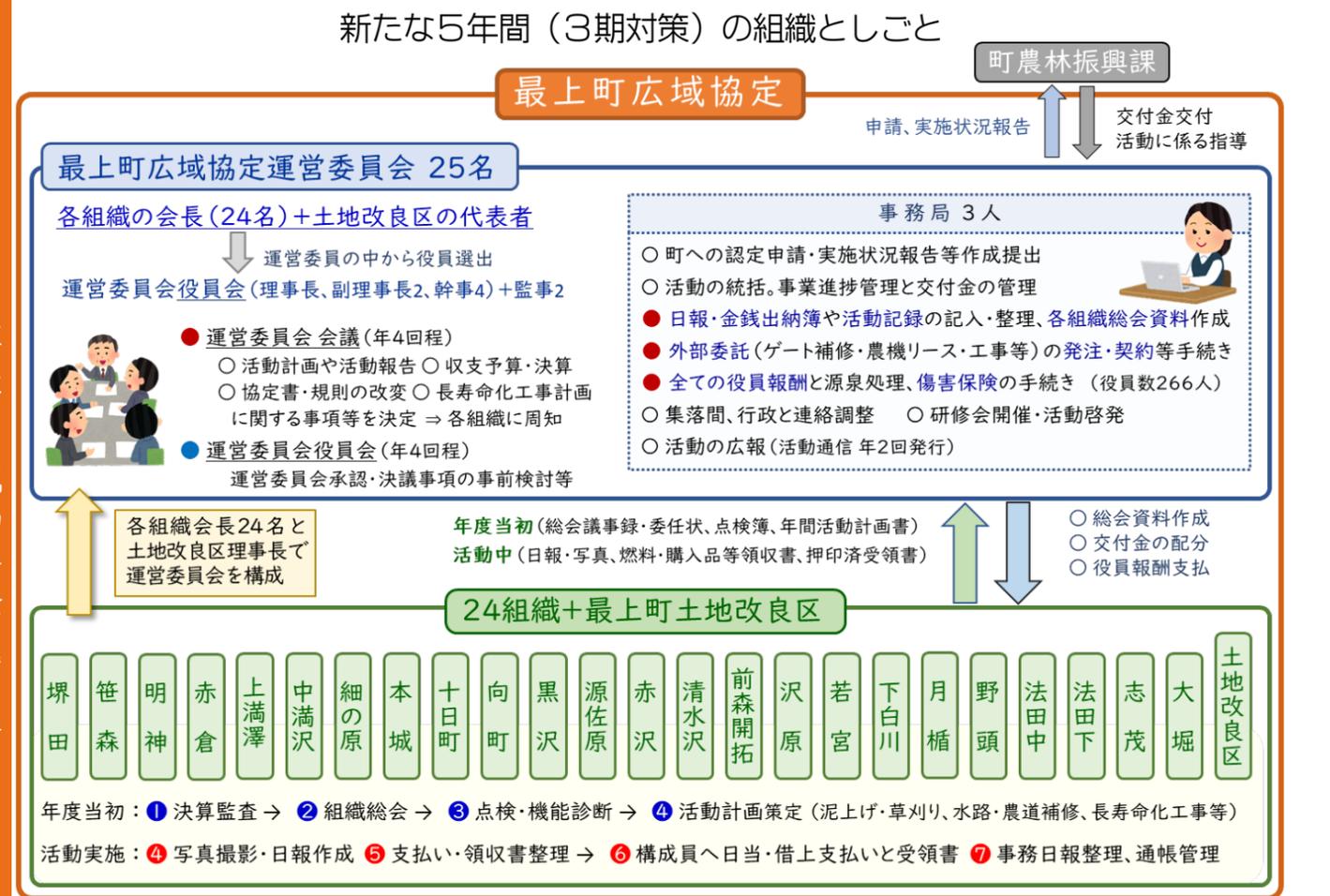
多面的機能支払交付金事業は、農地や農道、農業水路などの維持・管理を支援し、農業・農村の環境保全や地域活性化を進める制度です。地域住民や農業者が協力し、農業が続けられる環境と豊かな自然環境を守るために活用されます。今年度から新たに第3期対策(令和7年~11年)が始まりました。

今号は、第2期対策(令和元年~6年)のまとめと、今後の活動の目指すポイントについて特集します。

## 今年度から「黒沢」、「赤沢」、「清水沢」、「前森開拓」の4地区が加入しました

令和元年に13地区で始まった最上町広域協定は、本年4月に、「黒沢」、「赤沢」、「清水沢」、「前森開拓」の4地区が加入し、24地区となりました。

協定面積1,307ha、事業費114百万円、構成員数1,076人・団体(農業者等798、非農業者等278)になり、町全体の本事業取り組み面積の約70%の規模です。





## 令和元年～6年（第2期対策）最上町広域協定活動まとめ

農業や農村の持っている「めぐみ」

【食料提供、洪水防止・地下水を貯める、土砂流出防止、美しい風景、伝統文化の継承、多様な生き物の保全等】を守るため、多面的事業の各組織は、6年間様々な活動を行ってきました。

この事業は、以下の3つの活動と災害復旧活動で分けられています。6年間の支出額を含めて詳しくまとめます。

- ① 農地維持活動 …… 水路の泥上げや農道の砂利敷きなどの基本的な活動
- ② 資源向上（共同）活動 …… 生き物調査、集落内の花の植栽、鳥獣害対策などの多様な農村環境保全活動
- ③ 施設の長寿命化活動 …… 土側溝をコンクリート水路に更新、農道の舗装、ゲート・ポンプ更新・補修
  - 災害復旧活動 …… 水路・農道・農地に係る災害復旧費用 ※①～③の活動に含まれる

### ① 農地維持活動 1億5千2百万円 ~各組織に予算配分し活動~

- 各組織に面積に応じた交付金の配分：59万円～276万円
- 組織ごとの活動と交付金の使途については組織に任せている
- 災害復旧等により不足が生じた場合は、年度途中で追加配分  
R4/6月災：6組織210万円追加、R7/7月災：10組織480万円追加

#### 【主な活動】

- ・ 決算監査、組織の総会、施設点検、計画策定
- ・ 水路の泥上げ、不耕作田・水路・農道草刈り
- ・ 立枯木等支障木の伐採、管理ゲートの注油
- ・ 農道の砂利敷き、鳥獣害防護柵の保守管理



### ② 資源向上（共同）活動 1億3千4百万円 ~事務局が管理、運営~

- 畦畔、水路や農道・農地法面の補修、雑草対策
- 構成員のスキルアップを目的とした研修会開催  
目地補修研修、田んぼダム研修、ウイングモア等安全操作研修  
鳥獣害防止集落点検研修、電気柵設置研修
- 子供育成会と生物の生息状況調査 2地区
- 集落内の農用地に花の植栽 7地区
- 電気柵設置：2か所 2,850m 13.6ha
- 防草シート設置：7カ所 875m
- 共同農業機械リース・購入  
ウイングモア19台、スパーダ-モア2台  
ハンマーモア6台、畔塗機1台



### ③ 施設の長寿命化活動 1億6千3百万円 ~事務局がまとめ役・工事管理~

- 各組織の要望に基づき計画的に工事
  - 土側溝からコンクリート水路へ更新  
45か所 4,717m 137百万円  
○うち組織住民による直営施工  
17か所 1,848m(39%) 22百万円
  - 農道舗装  
22か所 3,012m 40百万円
  - ゲート・ポンプ更新、補修  
42カ所 11百万円
- ※農地維持や共同予算から工事費を支出している箇所もある



### 6年間の支出額 計 4億4千9百万円

	農地維持	共同	長寿命化	計(千円)	内 訳
日 当	69,911	4,508	1,108	75,527	構成員への活動日当 第2期対策の時給は、1,200円、3期対策は1,500円
購入 リース	44,417	31,471	4,663	80,551	碎石・花苗等の購入費、パソコン・農業用機械の購入・リース料、構成員所有機械の借上げ料等
外注費	28,235	14,861	154,830	197,927	測量設計費、水路工事、農道舗装工事等をコンサル・建設会社等への外注費
その他	9,428	83,328	2,401	95,158	活動保険料、事務消耗品、機械燃料代、研修旅費、役員報酬、職員給与・社会保険料
計	151,991	134,168	163,004	449,163	※単位は千円。四捨五入により一部 計が合いません

#### ● R7災害復旧活動 7,218千円

- 点検・復旧作業日当 4,827千円
- 重機リース・機械借上げ 956千円
- 碎石、トンパック等購入 961千円
- 重機燃料代 298千円
- 構成員以外の賃金 176千円

災害により、各組織の予算に不足が生じたため、共同予算から4,800千円の追加交付

